

2025年3月期第3四半期決算補足資料

株式会社 きもと

2025年1月30日



- 1 2025年3月期 第3四半期決算について**
- 2 2025年3月期 通期業績予想
- 3 フィルム事業
- 4 デジタルツイン事業
- 5 KIMOTOの事業について



2025年3月期 第3四半期実績 前年比

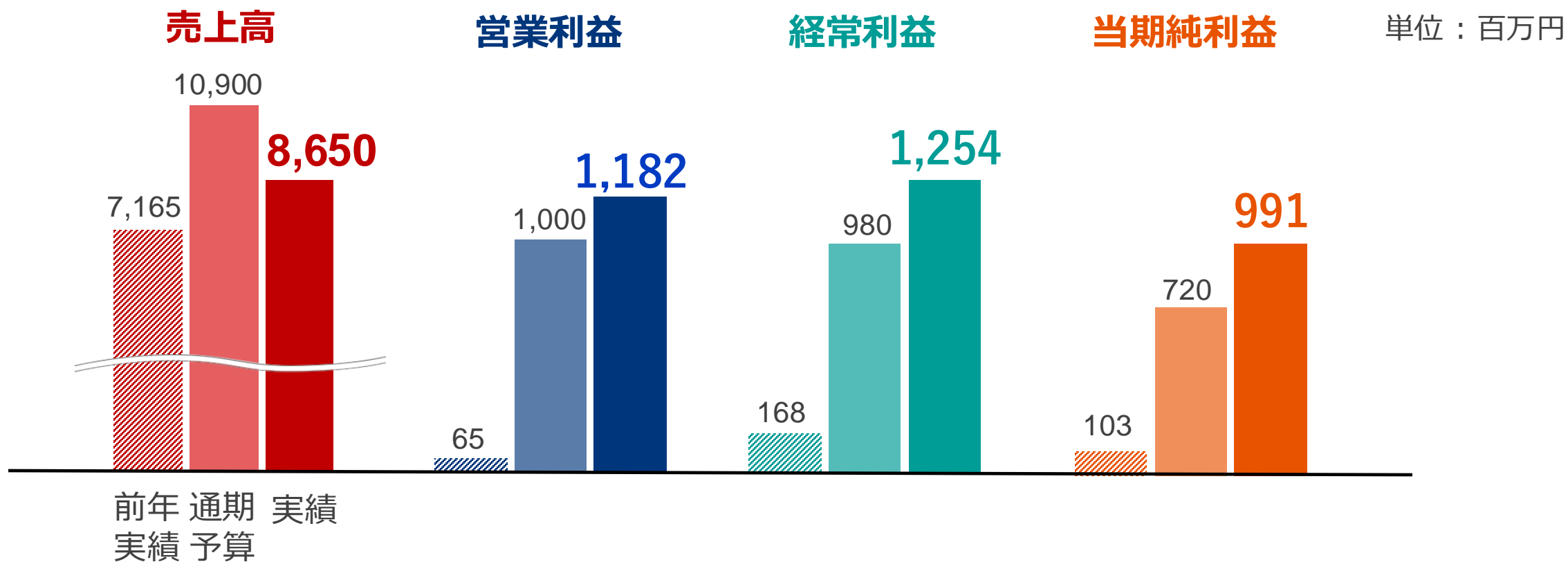
- 中間期に引き続き利益率の高い高付加価値製品（遮光、粘着フィルム等）が堅調に推移したことに加え、低収益品の統合及び生産業務効率化による製造原価低減を推進したことにより、利益に貢献しました。

単位：百万円

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 通期 予想	2025年3月期 第3四半期	増減	増減率(%)
売上高	7,165	10,900	8,650	1,484	20.7
売上総利益	2,260	-	3,480	1,219	53.9
販売管理費	2,195	-	2,298	102	4.7
営業利益	65	1,000	1,182	1,116	1711.5
経常利益	168	980	1,254	1,086	645.9
税引前利益	159	-	1,280	1,120	701.3
当期純利益	103	720	991	887	856.3

損益計算書 [連結]

- 中間期に引き続き利益率の高い高付加価値製品（遮光、粘着フィルム等）が堅調に推移したことに加え、低収益品の統合及び生産業務効率化による製造原価低減を推進したことにより、利益に貢献しました。

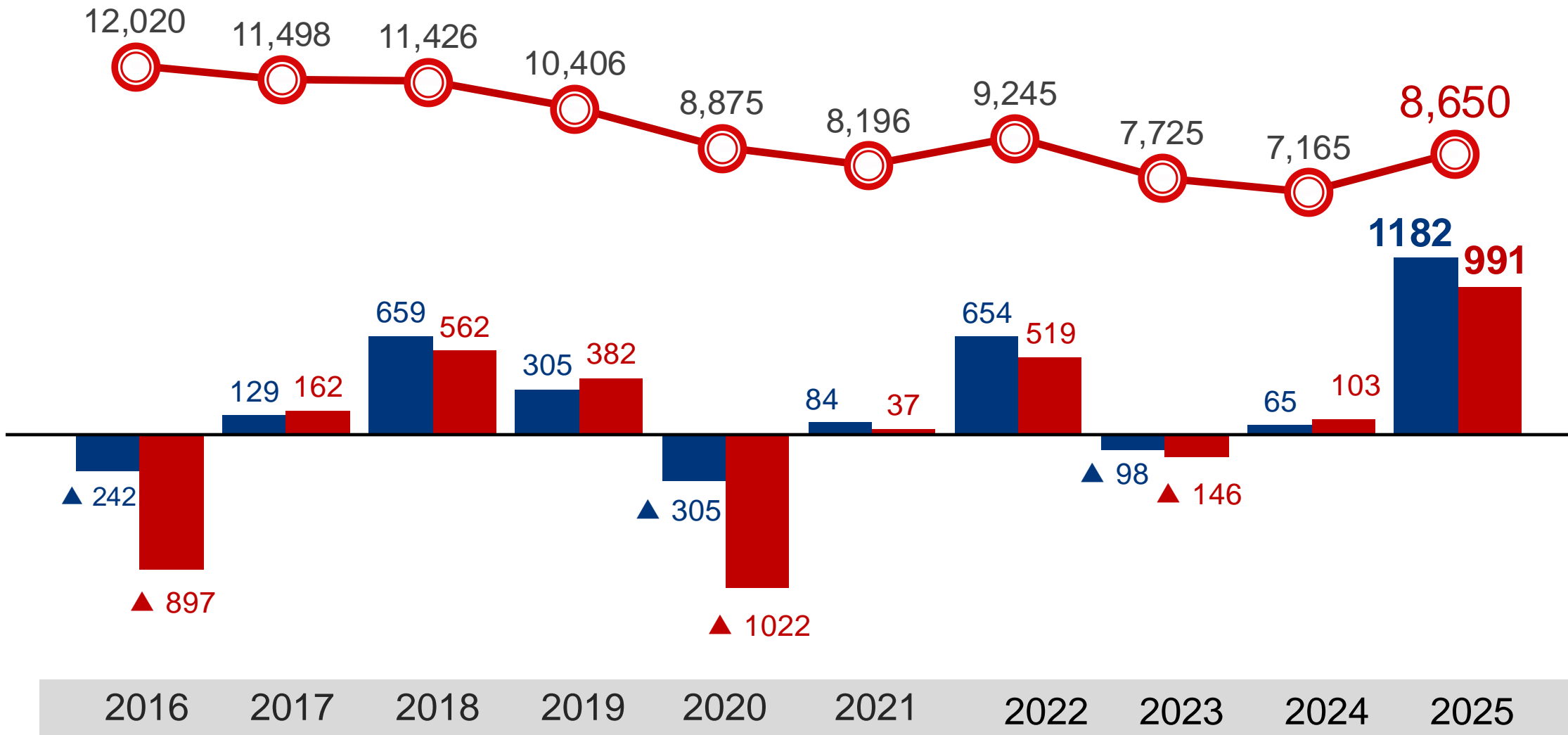


売上高・営業利益・純利益 [連結]

2016年3月期～2025年3月期 第3四半期比較





単位：百万円

○ 売上高
■ 営業利益
■ 当期純利益



KIMOTOグループ業績

単位：百万円

		日本 	アメリカ 	スイス 	中国 
売上高	2025年3月期 第3四半期	8,024	719	559	90
	2024年3月期 第3四半期	6,699	409	432	144
営業利益	2025年3月期 第3四半期	1,247	△58	38	△36
	2024年3月期 第3四半期	253	△227	36	△0.3

KIMOTOグループトピックス

日本



中間期に引き続き利益率の高い高付加価値製品（遮光、粘着フィルム等）が堅調に推移したことに加え、低収益品の統合及び生産業務効率化による製造原価低減を推進したことにより、利益に貢献しました。

アメリカ



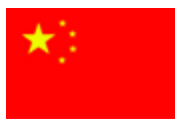
輸送機器向けの拡散フィルムが好調に推移したことに加え、ディスプレイ保護向けのハードコートフィルムが売上に貢献しました。

スイス



欧州での経済活動の停滞が続く中においても、輸送機器向け案件は計画通りの結果となっております。また、家電や照明向け製品も堅調に推移しました。

中国



製造業DX向けデータ作成案件およびプログラム開発案件を受注。今後も提案を推進することにより売上増加を目指します。

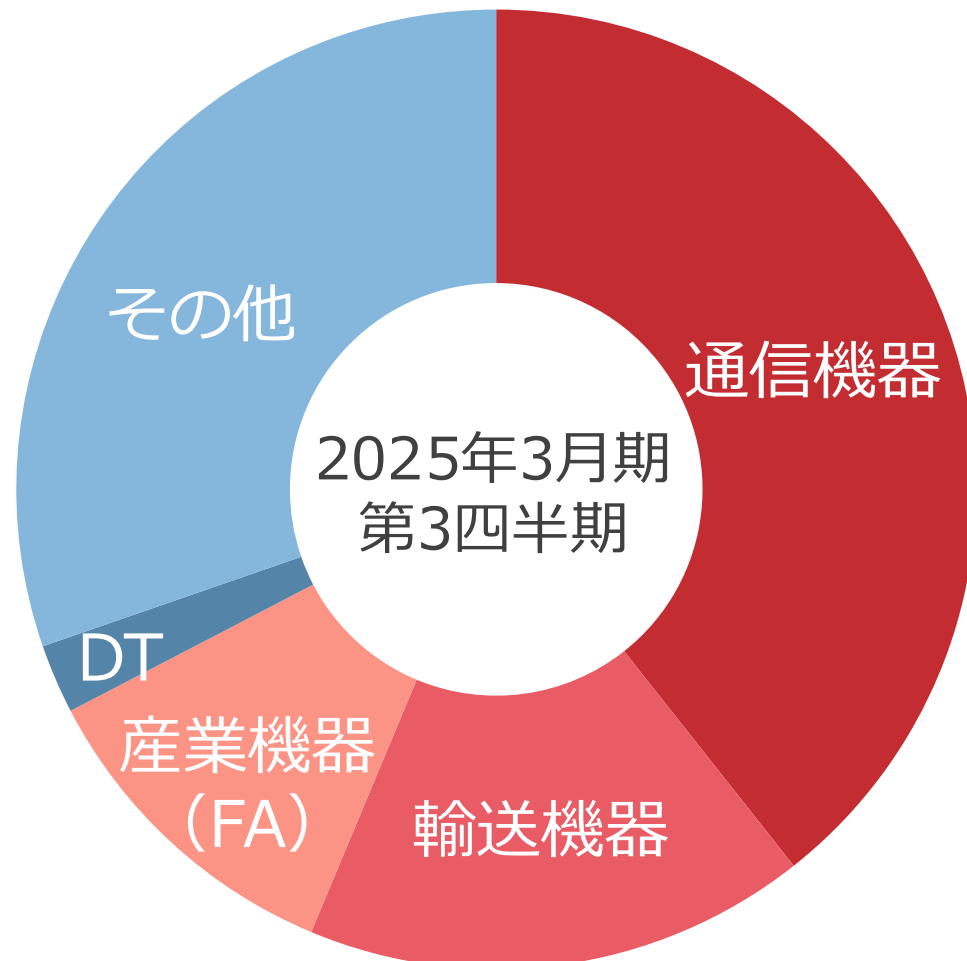
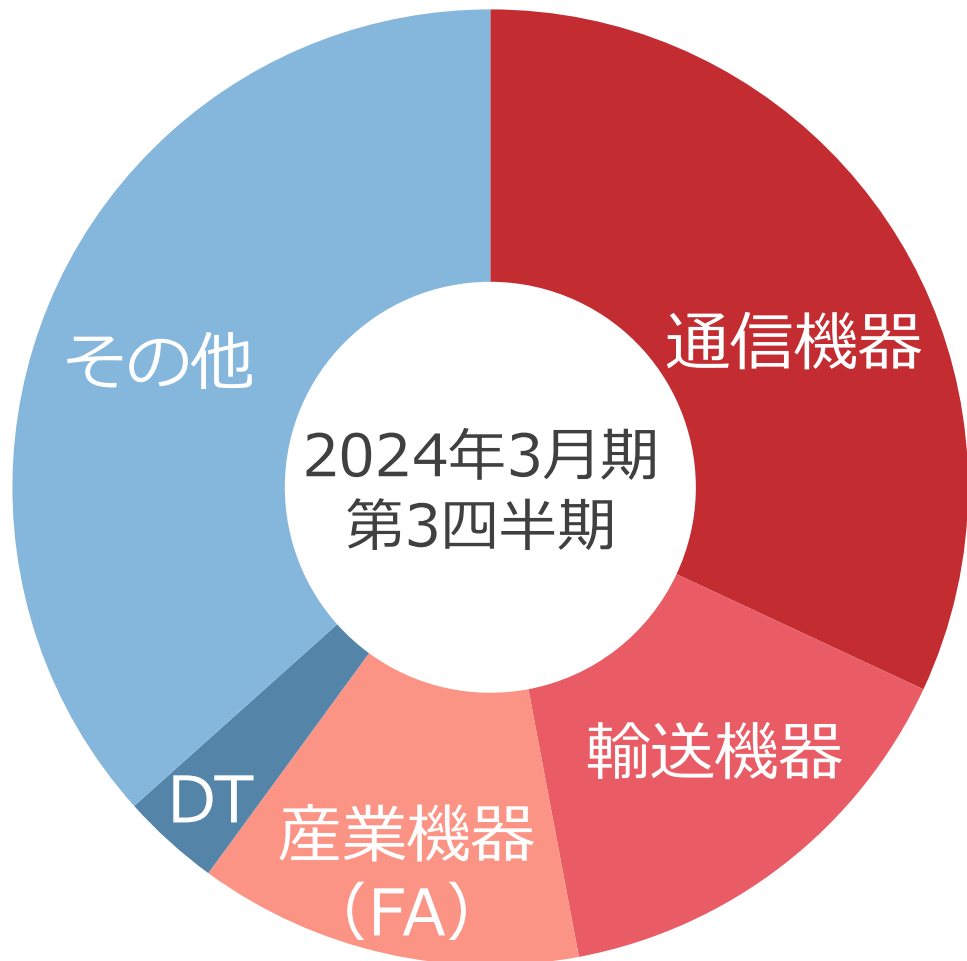
【日本】売上構成

単位：百万円

	2024年3月期 第3四半期	構成比	2025年3月期 第3四半期	構成比	増減	増減率(%)
フィルム事業	6,476	96.7%	7,837	97.7%	1,361	21.0%
通信機器	2,140	31.9%	3,158	39.4%	1,017	47.5%
輸送機器	1,010	15.1%	1,359	16.9%	349	34.6%
産業機器	871	13.0%	887	11.1%	15	1.8%
その他	2,453	36.6%	2,431	30.3%	△21	△0.9%
デジタルツイン事業	223	3.3%	187	2.3%	△36	△16.3%
3D	100	1.5%	53	0.7%	△46	△46.6%
2D	77	1.2%	52	0.7%	△25	△32.2%
コンサルティング	0	-	2	-	2	-
その他	45	0.7%	78	1.0%	33	73.2%

【日本】売上構成

- 当第3四半期において、**通信機器向け・輸送機器向け製品が伸びた**ことで売上のシェアを大きく占めています。



【アメリカ】 売上構成

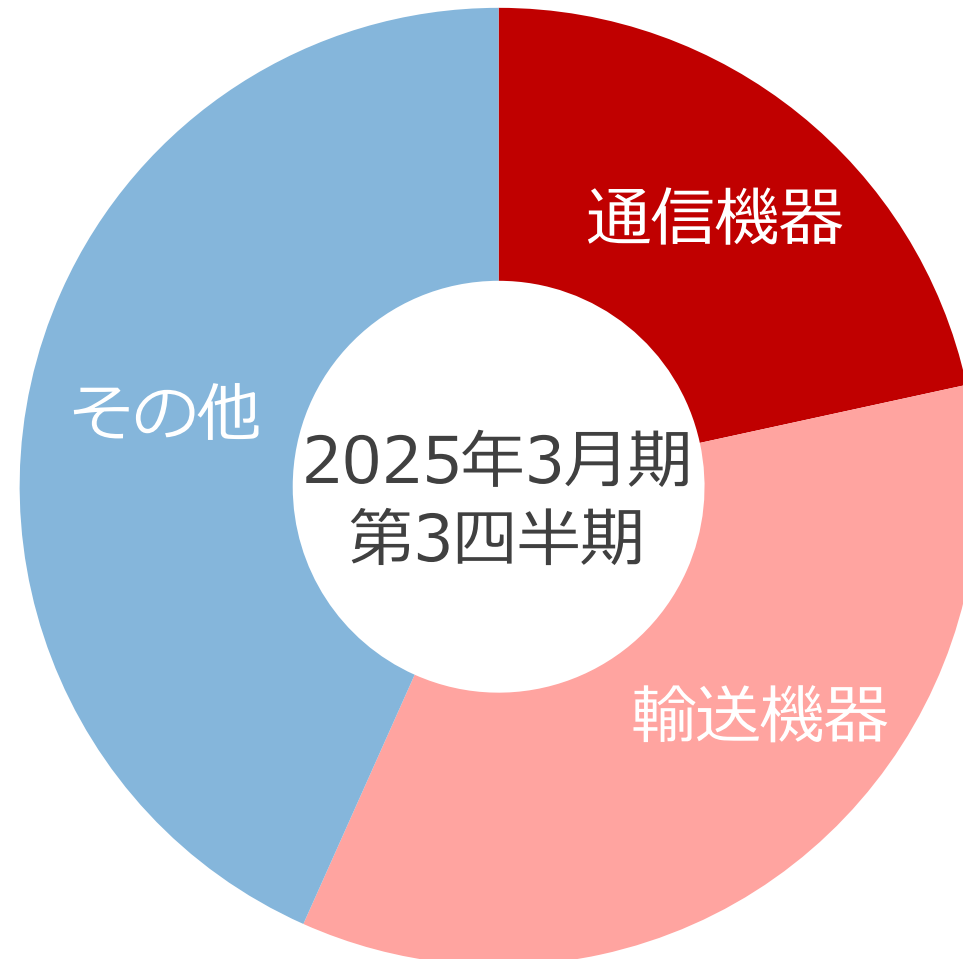
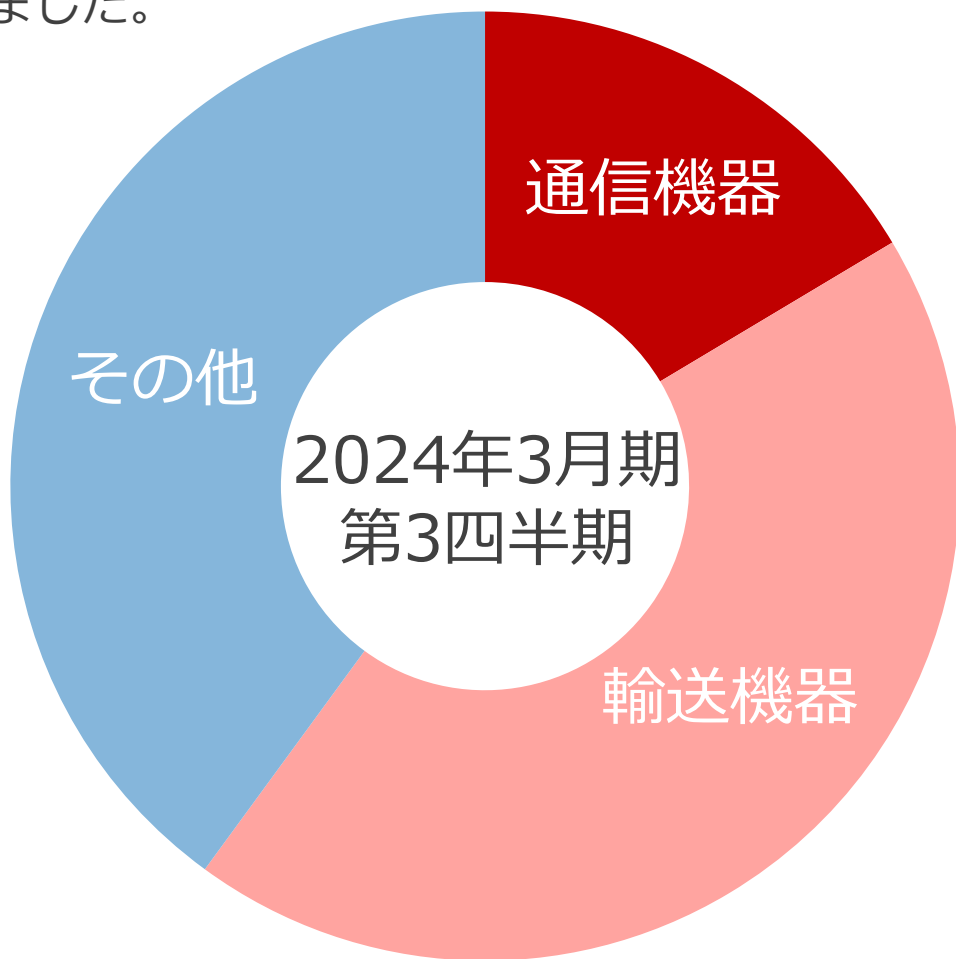
単位：百万円

	2024年3月期 第3四半期	構成比	2025年3月期 第3四半期	構成比	増減	増減率(%)
フィルム事業	409	100.0%	719	100.0%	310	76.0%
通信機器	67	16.5%	155	21.6%	88	131.2%
輸送機器	178	43.6%	252	35.1%	74	41.6%
その他	163	39.9%	311	43.3%	148	90.8%

※上記の売上高は内部取引を考慮しておりません。

【アメリカ】 売上構成

- ディスプレイ保護向けハードコートフィルム、輸送機器向け拡散フィルムの販売が堅調により売上に貢献しました。



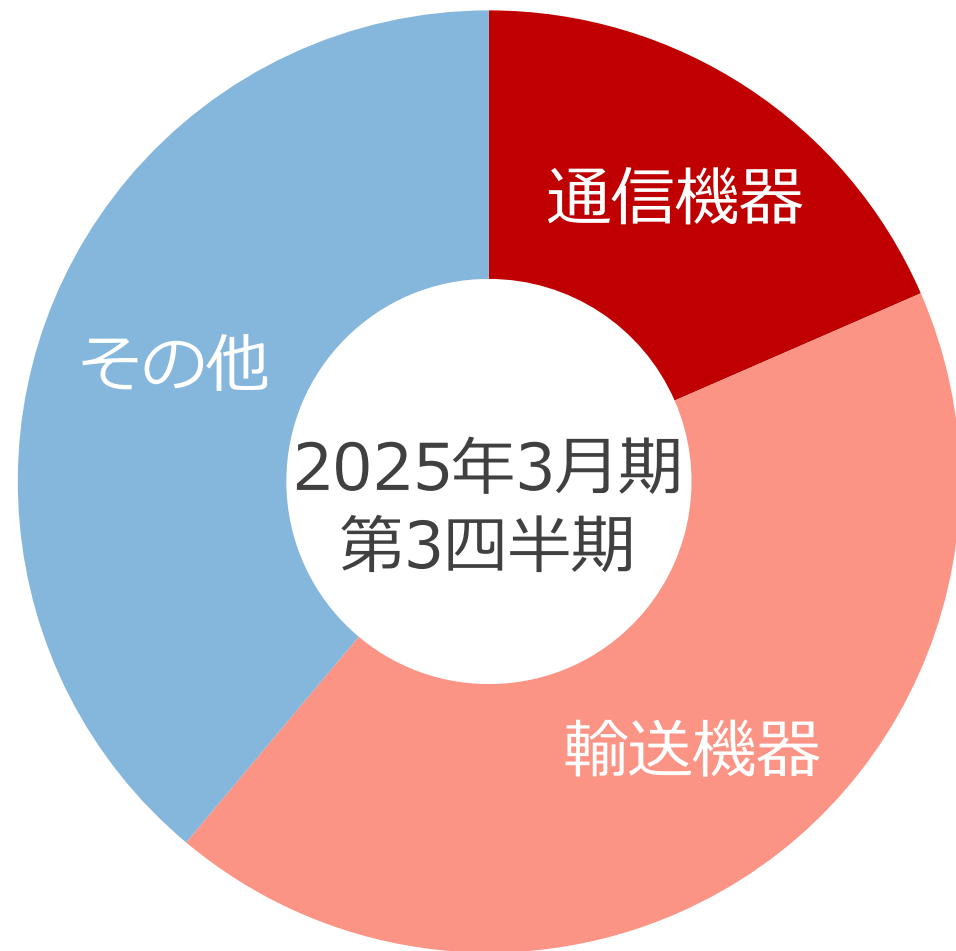
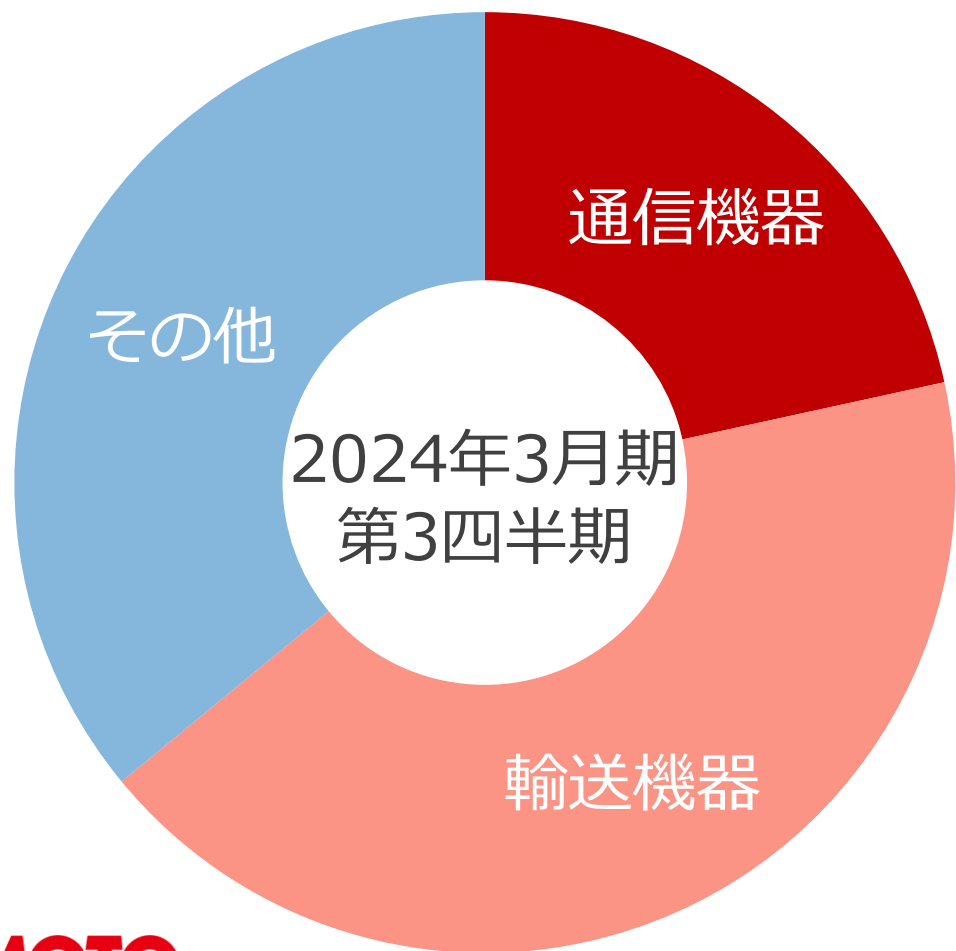
【スイス】 売上構成

単位：百万円

	2024年3月期 第3四半期	構成比	2025年3月期 第3四半期	構成比	増減	増減率(%)
フィルム事業	432	100.0%	559	100.0%	126	29.3%
通信機器	93	21.6%	103	18.4%	9	10.5%
輸送機器	183	42.4%	238	42.7%	55	30.1%
その他	155	36.0%	217	38.9%	61	39.7%

【スイス】売上構成

- 欧州での経済停滞の中でも、輸送機器向け案件は計画通り進行し、家電や照明向け製品も堅調に推移し、売上、利益ともに貢献しました。



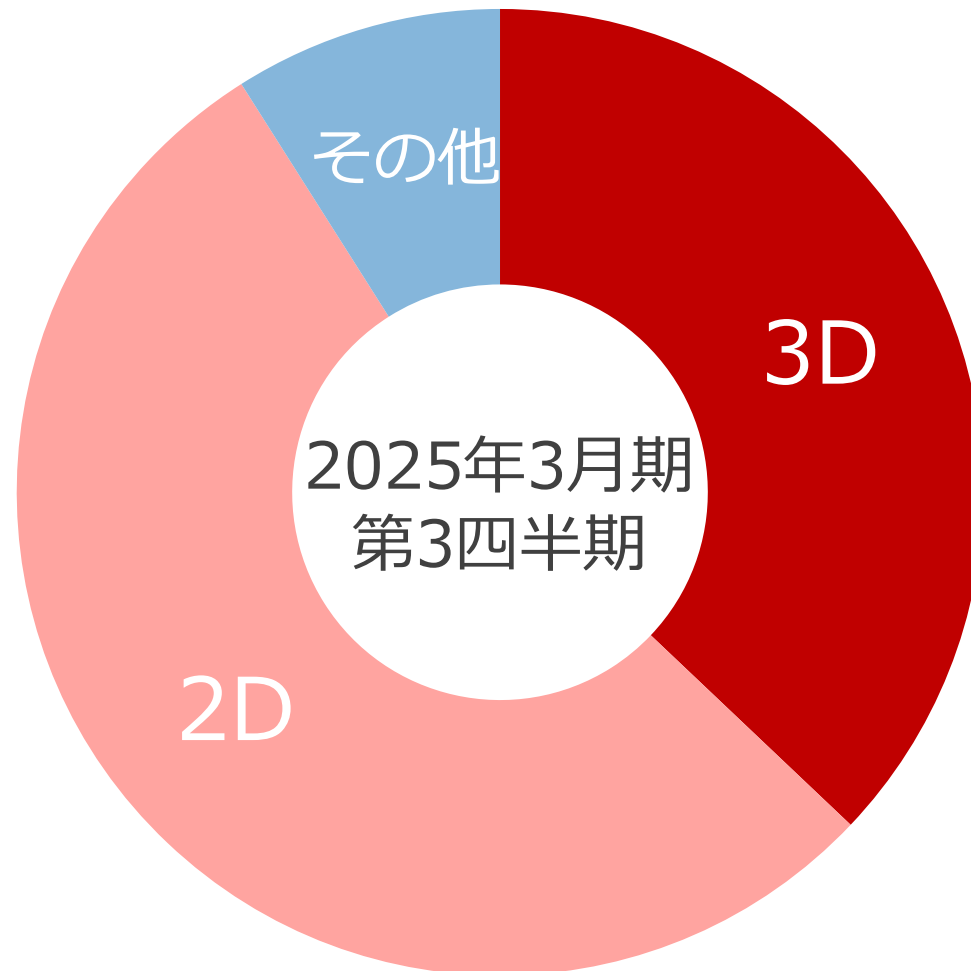
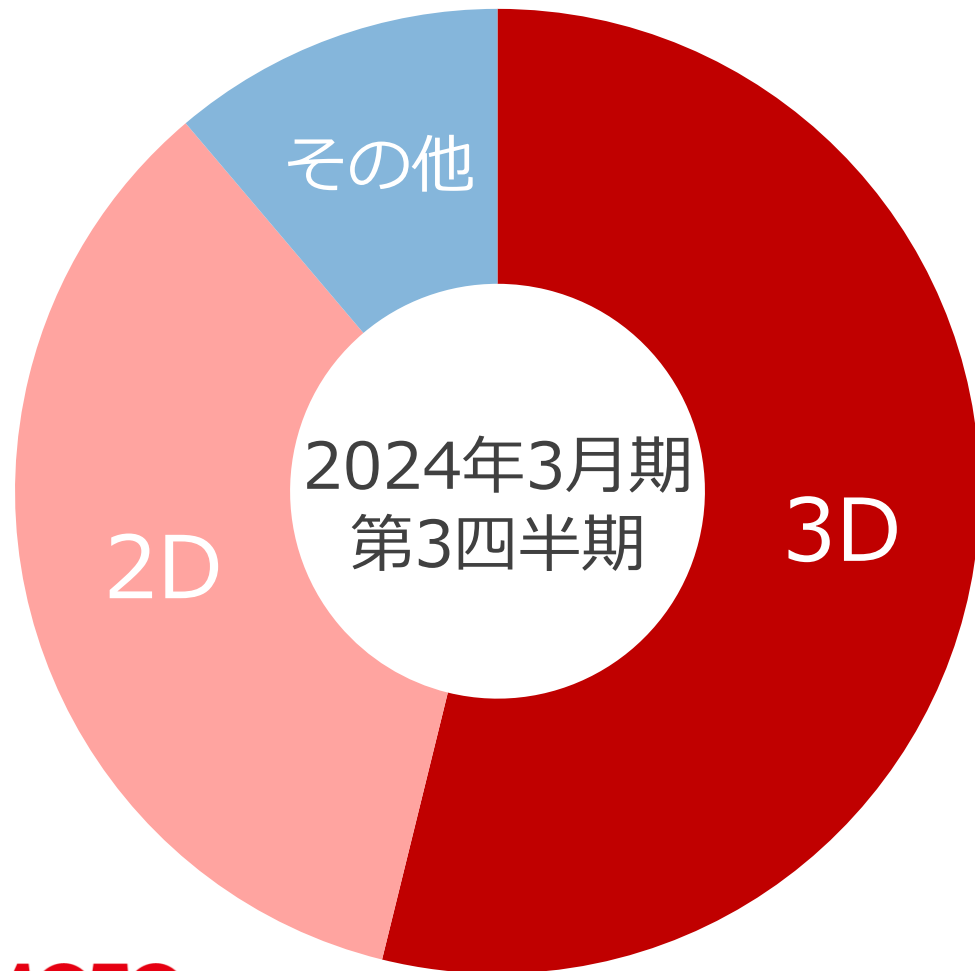
【中国】売上構成

単位：百万円

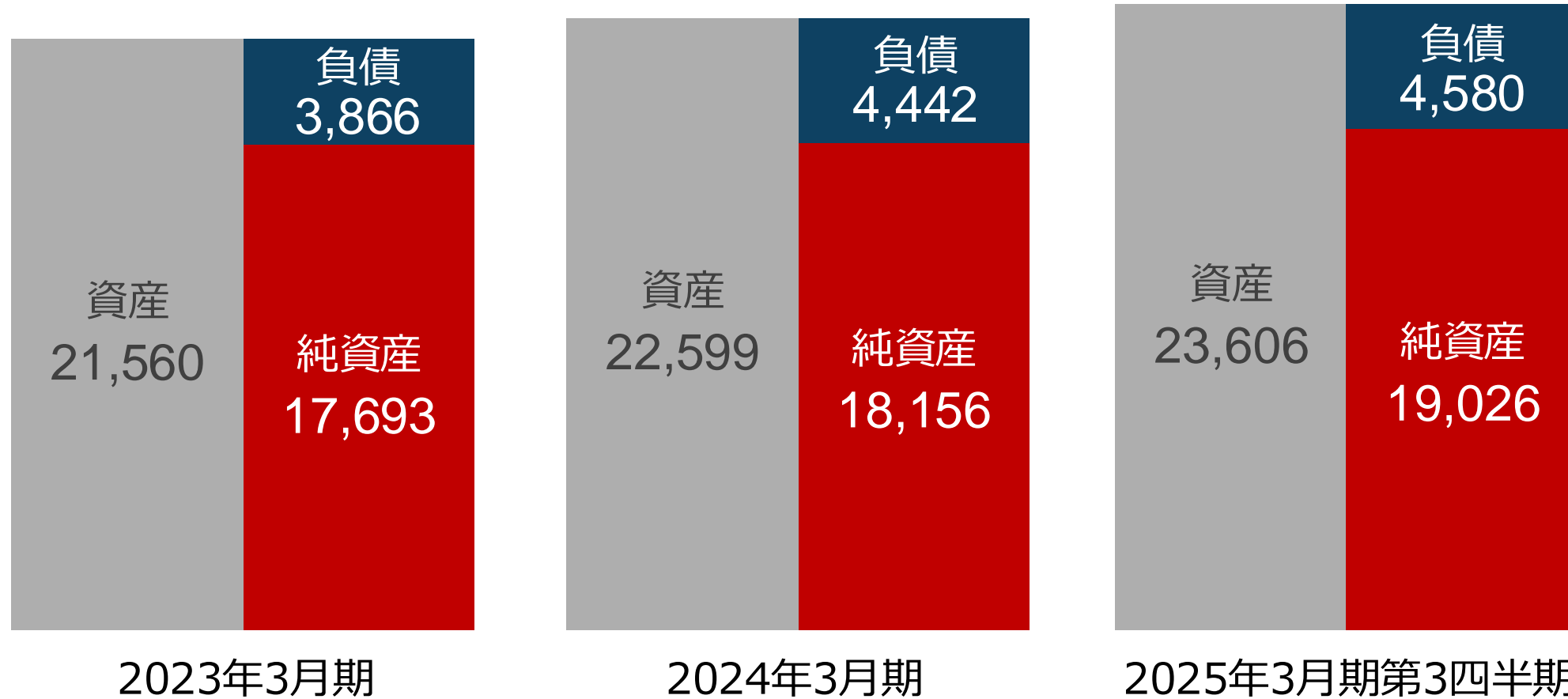
	2024年3月期 第3四半期	構成比	2025年3月期 第3四半期	構成比	増減	増減率(%)
デジタルツイン事業	144	100%	90	100%	△53	△37.2%
3D	77	53.7%	33	37.2%	△43	△56.4%
2D	50	34.8%	48	53.8%	△1	△2.9%
その他	16	11.5%	8	8.9%	△8	△51.4%

【中国】売上構成

- BIM/CIM関連の大型案件が少なく売上、利益ともに低調となりましたが、製造業DX向けのデータ作成、プログラム開発案件を受注しています。



2025年3月期第3四半期貸借対照表 [連結]



単位：百万円

2025年3月期第3四半期貸借対照表 [連結] 主な変動要因

単位：百万円

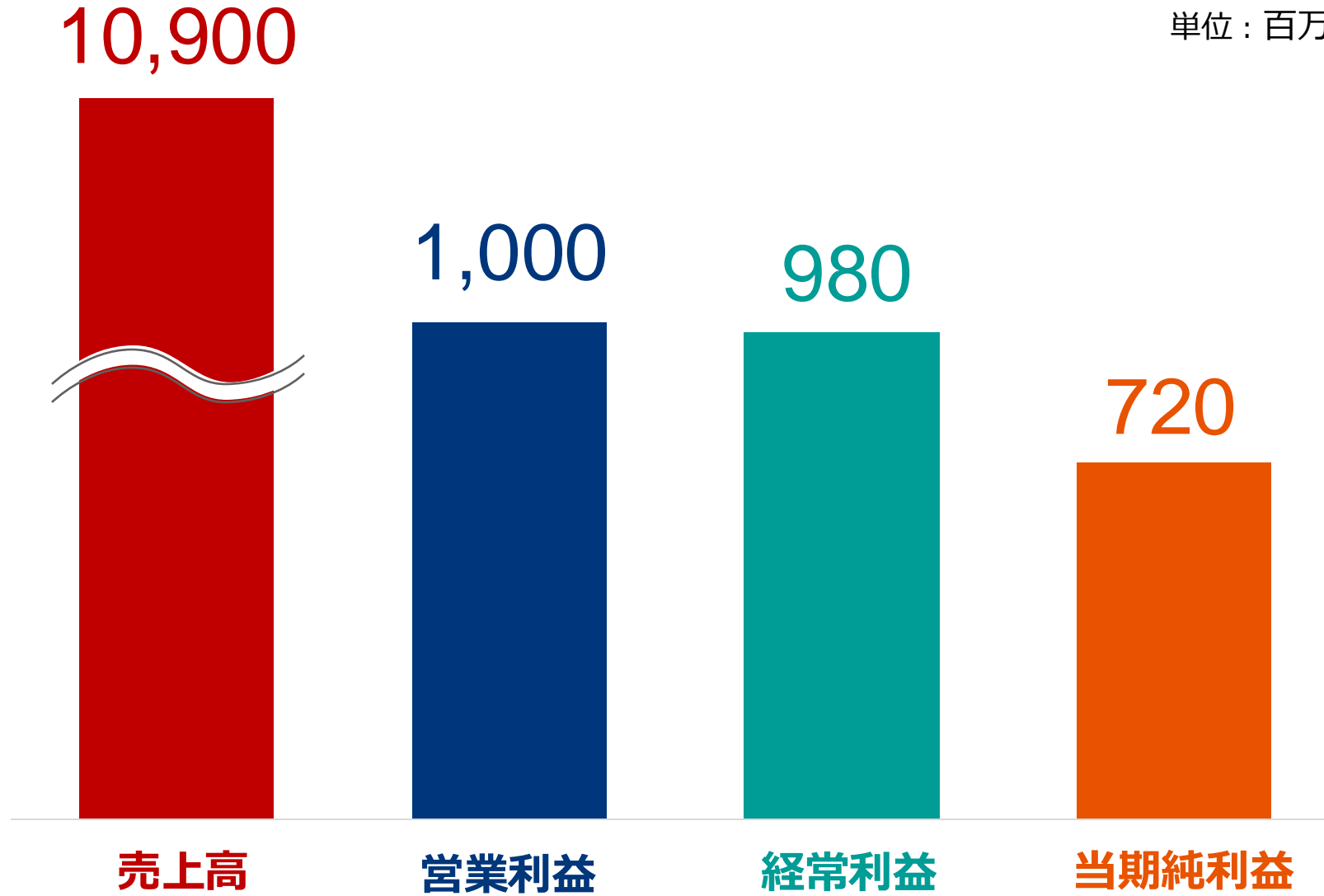
資産	対前期末比	負債	対前期末比
現金及び預金	677	未払法人税等	165
長期預金	184	賞与引当金	△94
投資有価証券	110		
		純資産	対前期末比
		利益剰余金	714
		為替換算調整勘定	79
			869

- 1 2025年3月期 第3四半期決算について
- 2 2025年3月期 通期業績予想**
- 3 フィルム事業
- 4 デジタルツイン事業
- 5 KIMOTOの事業について



通期業績予想 [連結]

単位：百万円

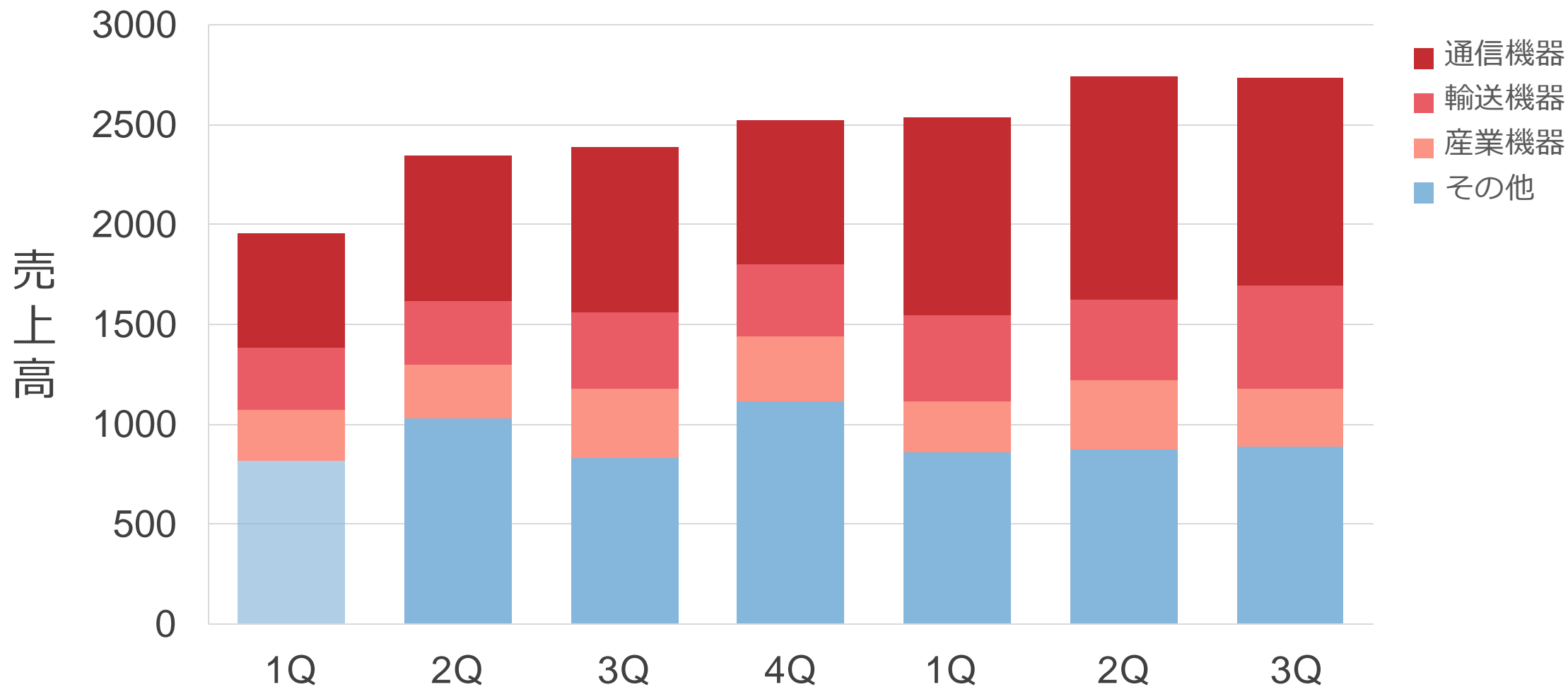


- 1 2025年3月期 第3四半期決算について
- 2 2025年3月期 通期業績予想
- 3 フィルム事業**
- 4 デジタルツイン事業
- 5 KIMOTOの事業について

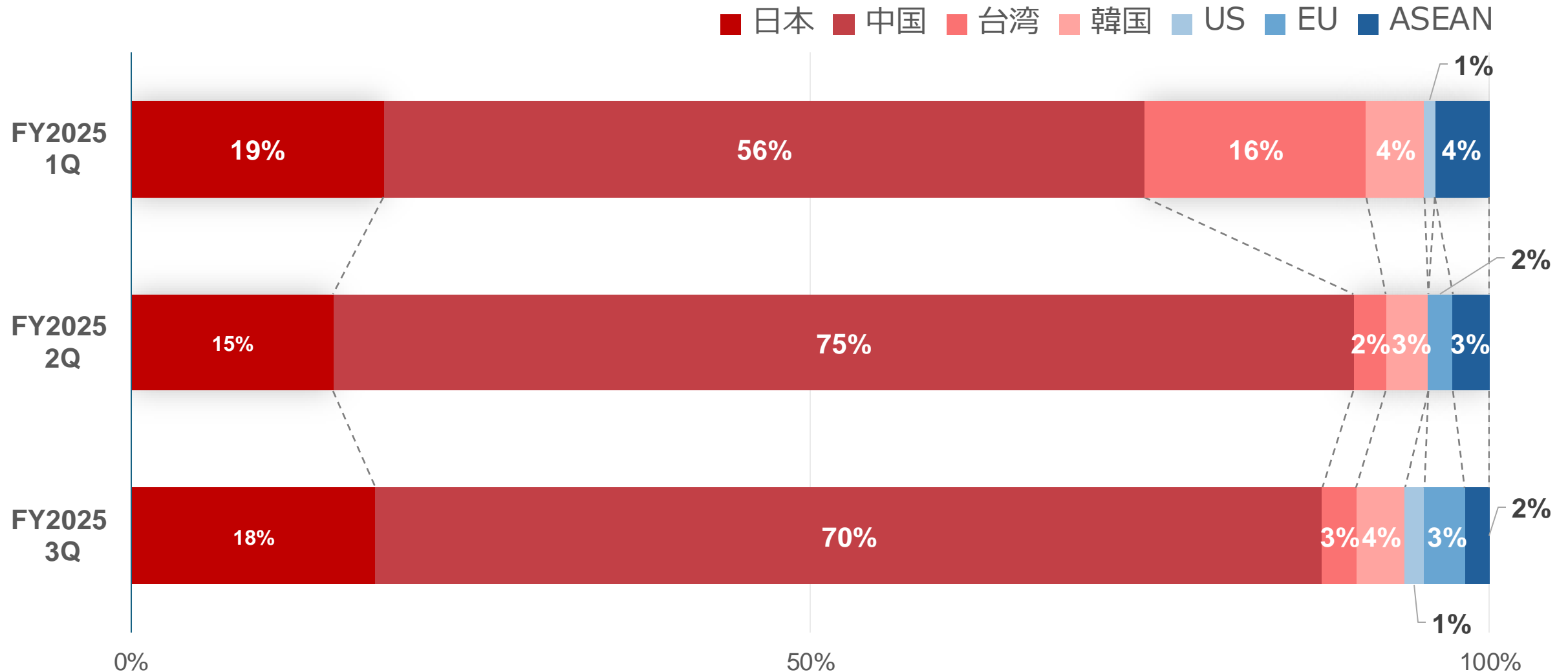


【日本】売上推移（四半期）

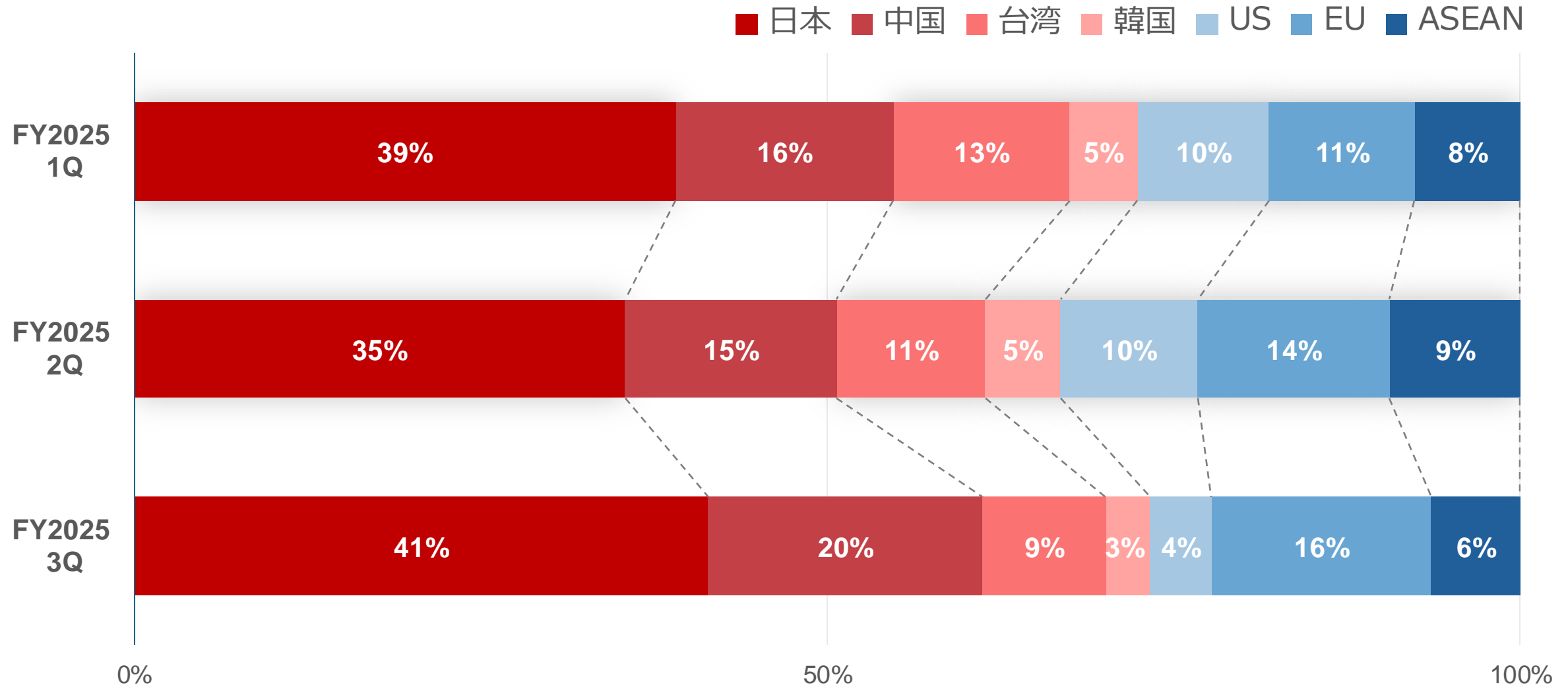
単位：百万円



【日本】通信機器 エリア別 主要製品 売上構成※



【日本】 輸送機器 エリア別 主要製品 売上構成※

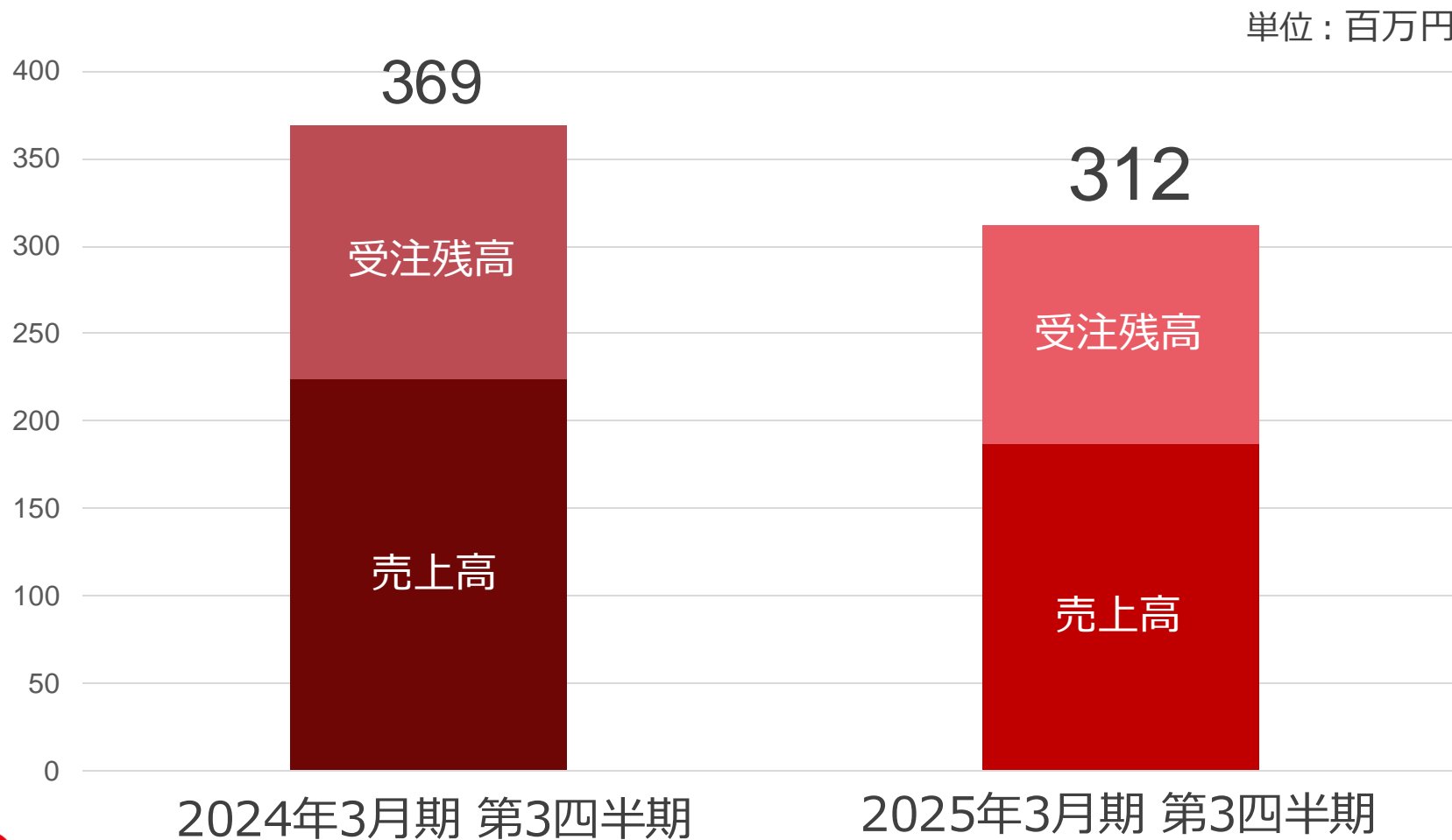


- 1 2025年3月期 第3四半期決算について
- 2 2025年3月期 通期業績予想
- 3 フィルム事業
- 4 デジタルツイン事業**
- 5 KIMOTOの事業について



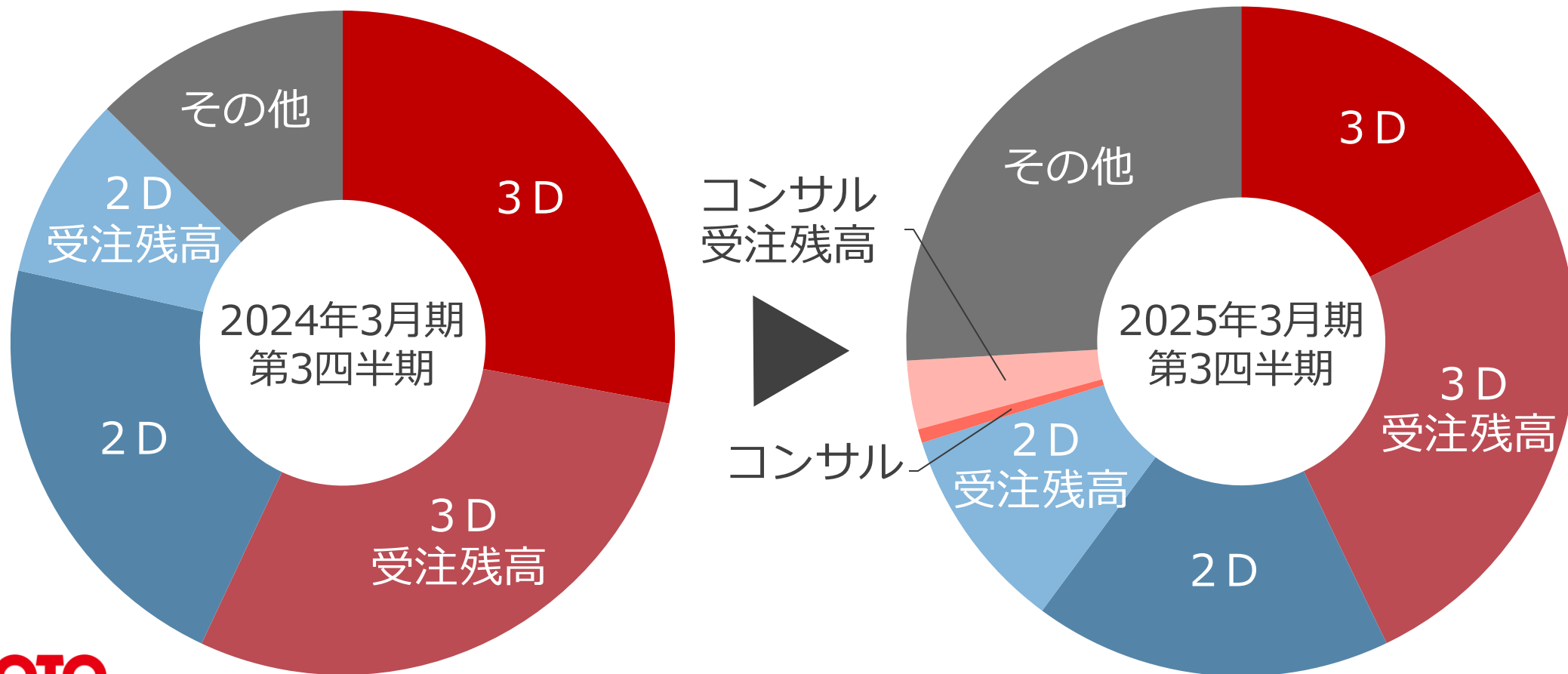
【日本】 デジタルツイン事業売上高・受注残高

- 3D関連において、3Dモデル作成作業、プログラム開発、LiDARの案件が顧客の内製化により減少傾向となっております。



【日本】 デジタルツイン事業売上高・受注残高構成

- 3Dモデル関連の案件が前年と比べ減少しているものの、上半期に受注した**コンサルティング案件**は順調に進捗しています。



- 1 2025年3月期 第3四半期決算について
- 2 2025年3月期 通期業績予想
- 3 フィルム事業
- 4 デジタルツイン事業
- 5 KIMOTOの事業について**

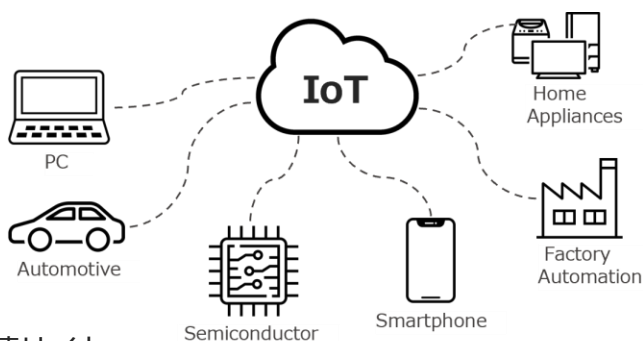


モノからコト、そしてココロを伝える

IoT to IoE 人とともに成長するIoT関連企業へ

フィルム事業

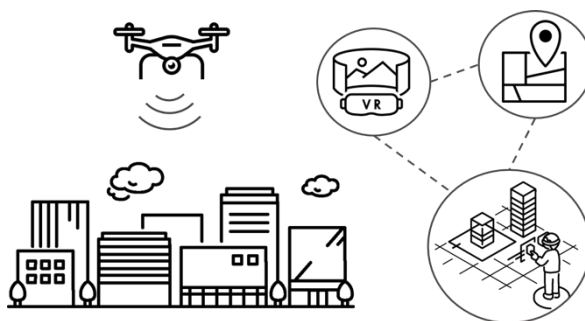
IoTは、家電や自動車、工場設備などあらゆるモノがインターネットで繋がり、新たな価値を生み出す仕組みです。KIMOTOのフィルム製品は、長年の表面加工技術を活かして開発された機能性フィルムで、IoT時代を支える多様な産業分野で活用されています。



関連サイト
<https://www.kimoto.co.jp/company/business/film>

デジタルツイン事業

IoT時代に必要な膨大なデータを“意味のあるもの”に変換し、最適な形で提供する「デジタルツイン」。創業以来の画像処理技術やデータ加工技術を進化させ、国土や土木・建築、都市計画、工場など、幅広い分野で活用可能な高品質データを提供しています。



関連サイト
<https://www.kimoto.co.jp/business/digital-twin>

コンサルティング事業

IoT時代のものづくりでは、モノが繋がる前にヒトが繋がるのが大切です。KIMOTOは、繋がる「仕組み」をデザインし、営業ネットワーク構築や工場内コミュニケーション活性化、ワークフロー改善など新しい働き方を提案、企業のDX推進をサポートします。



関連サイト
<https://www.kimoto.co.jp/business/consultant>

KIMOTO

人と未来を守る環境フレンドリーな企業へ

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
本資料（業績見通しを含む）は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものであります。
実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果となる可能性があります。